









# 田川拓海

人文社会系・准教授。筑波大院人文社会科学研究科博士課程修了、博士（言語学）。2012年より現職。人文学類にて日本語の文章研究に関する授業を担当。

筑波時評

今年9月に、文化庁から「国語に関する世論調査」(以下、本調査)の報告書が発表された。調査時期は1~3月である。毎年ニュースでもよく取り上げられ、特定の表現の正誤に焦点が当たられる。例えば今回は「役不足」という表現は「本人の力量に対しても役目が軽すぎる」と「本人の力量に対しても役目が軽すぎる」

いうよりは、人間が決めている。これは、法律のような規によって直接正誤が指定されているものだけを指すのではいる。例えば「常用漢字表」や

国語調査 言葉は正誤を以

今年9月に、文化庁から「国語に関する世論調査」(以下、本調査)の報告書が発表された。調査時期は1~3月である。毎年ニュースでもよく取り上げられ、特定の表現の正誤に焦点が当たられる。例えば今回は「役不足」という表現は「本人の力量に対しても役目が軽すぎる」と「本人の力量に対して役目が重すぎる」とのどちらの意味かという調査項目がある。

私が専門とする言語学の観点から言えば、言葉の正誤は言葉そのものに備わっている性質と

【67回参照】高校時代、大學で物理学を学びたいと考えていた。だが、進学したのは総合学域群だった。入学時点で専門を決めてしまうのは、早すぎると思ったからだ。1年間、さまざまな授業に顔を出した。その中でも、コーヒー豆をテーマにした国際学の授業は印象的だった。アフリカ起源のコーヒー豆が中東に伝わり、それが欧洲に広がっていったこと。植民地主義



青野心平

大学教育

多様な学生に対応する教育を  
卒業が学びの終わりではない

が欧州のコーヒー豆大量入手を支えていたこと。気候変動や国際情勢がコーヒーの価格に大きな影響を与えていたことも理解できた。コーヒー一つを巡って

より重要になると感じた。現代はVUCA時代と言われる。物事の不確実性が高く、将来的な予想が困難な時代といふのだ。大学での学びがいつまでも通用するか分からぬ。加藤は「ロボットは本紙の取材に「カリキュラムに従ったレールの上を走る学びだけではない」と語った。特定の専門領域

の専門領域の教員に話を聞け  
るように計らうともぐる。  
その先駆けとして、昨年度を  
う1年生向けの授業「学問探査」  
が始まった。学生が自ら課題を設定し、学生  
2人にチューター教員2人が監  
督される。問題は、受講者の少  
なさだ。現在は定員40人に限  
られている。今後10年間で全学年

る  
の改善にもつながるはずだ。  
少子化が進む日本では今後、  
大学入学者に占める社会人や留  
学生の割合がさらに増えること  
が予想されている。坪内孝司先  
端教育推進機構長は、そのよう  
に多様化した学生の学びにも  
チュートリアル学修は対応しや  
すいという。その通りだと思う。  
日本教育省略 (口放題) は

# 留学考えていますか

留学考えていますか



【社工P前期1年・男性】  
留学をする気はない。

性教育が充実していった

行くなら、轟  
みたい。  
している米国が  
【資源4年・男性】

なつた。英語力を向上させ  
て、また留学してみたハ。  
両親が留学  
変だつたヒ

経験者で、一度も行ったことがないアーリカや才ニア二アに「行つて」と話によく聞

として振ってくれたところが、うれしかった。留学を経験するに留まらず、これまでの人生を振り返るとき、留学は人生で最も豊かな経験だった。これまでの人生で、最も豊かな経験だった。

三  
。合ひ  
三賣が  
し 英語が吉三の名  
ちが分かるようになつた  
三賣の三賣のうしやべ

ホームステイ先のホストファミリーが、家族の一員として行きたい。留学するな

ら、ドイツにイツの公立大学に米国やベトナムで暮らていた。英語の習得に苦

い、自分でプログラムに申請が外向的ではないので、請した。昼間は現地の生徒文化や言葉が違う場所でコロナと一緒に英語で行われる授業に参加し、放課後はお菓子パーティなどを楽しんだ。【障害】前期1年・女性

【障害】P 前期1年・男性

留学経験はないが、親の仕事の都合で、小学生の



# 筑波大の教育の将来像に迫る 少子化時代迎え

「学際性」「国際性」が強み

筑波大での教育をどのように進めていくのか。取り組んでいる改革や自指す姿を、研究・教育を統括する加藤光保プロボストと、竹中佳彌副学長（教育担当）、坪内孝司先端教学推進機構長に聞いた。

竹中佳彦副学長（教育担当）

波大の強みは何か。

竹中 建学の理念に掲げられている通り、学際性や国際性が筑波大の強みだ。学士課程のみならず、大学院でも学際的なプログラムを開展している。

——研究大学を目指す第一に、研究力のある教員による専門的な授業を受ける力で、キュラムも特徴だ。学生は自然と研究への興味が湧き、教育的効果も高まる

について理解を深めてもらう。専門性に裏付けられた学際性を持たせるため、 チュートリアル教育を中心とした学生の個性・能力を伸ばす教育により、その主体性、社会性を涵養していく。

——研究大学を目指す筑波大の強みは何か。  
竹中 建学の理念に掲げられている通り、学際性や国際性が筑波大の強みだ。大学士課程のみならず、大学院でも学際的なプログラムを開拓している。

坪内 義群1年次から、研究力のある教員による専門的な授業を受けるカリキュラムも特徴だ。学生は自然と研究への興味が湧き、教育的効果も高まる。こうした教育を受けた学生が大学院に進学することで、研究力が強化される。筑波大の教育ではこの好循

| <p>環が生まれている。</p> <p>——筑波大の第4期中期計画（2022～27年）では、チュートリアル教育の素質化が掲げられた。達成できたと考へているか。</p>          | <p>教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>チューター教員及びこれをサポートする大学院生等を活用した指導体制を構築し、専門の関心に沿った多様な学びを基盤に専門を深めるチュートリアル教育を開始する。</p>  |      |  |      |   |
|--|--|------|--|------|---|
| <p>坪内 チュートリアル教育は昨年度から始めた。内部質保証の実質化についての議論が生まれた。内は、学士課程の学位プログラムの内部質保証が掲げられた。達成できたと考へているか。</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="430 1671 498 1723">評価指標</th><th data-bbox="498 1671 720 1723">チュートリアル教育対象学生数を令和9年度（2027年度）末時点で1学年40人にする。</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="430 1723 498 1942">評価指標</td><td data-bbox="498 1723 720 1942"> <p>学生自身がもつ社会や学術の問題意識から課題を創造して探究するという思考（デザイン思考）を身に付けるとともに、学上課程の学位プログラムの内部質保証の実質化により専門性・学際性を深める。</p> <p>教員及び事務組織が連携した教學情報マネジメント環境を整備する。これにより、様々な教學情報を統合し、教育モデルの開発やコンテンツ開発を行うとともに、教學IRによる学生の主体性、専門性、学際性の評価を実施する。</p> </td></tr> </tbody> </table> | 評価指標 | チュートリアル教育対象学生数を令和9年度（2027年度）末時点で1学年40人にする。 | 評価指標 | <p>学生自身がもつ社会や学術の問題意識から課題を創造して探究するという思考（デザイン思考）を身に付けるとともに、学上課程の学位プログラムの内部質保証の実質化により専門性・学際性を深める。</p> <p>教員及び事務組織が連携した教學情報マネジメント環境を整備する。これにより、様々な教學情報を統合し、教育モデルの開発やコンテンツ開発を行うとともに、教學IRによる学生の主体性、専門性、学際性の評価を実施する。</p> |
| 評価指標   | チュートリアル教育対象学生数を令和9年度（2027年度）末時点で1学年40人にする。   |      |  |      |   |
| 評価指標   | <p>学生自身がもつ社会や学術の問題意識から課題を創造して探究するという思考（デザイン思考）を身に付けるとともに、学上課程の学位プログラムの内部質保証の実質化により専門性・学際性を深める。</p> <p>教員及び事務組織が連携した教學情報マネジメント環境を整備する。これにより、様々な教學情報を統合し、教育モデルの開発やコンテンツ開発を行うとともに、教學IRによる学生の主体性、専門性、学際性の評価を実施する。</p>  |      |  |      |   |

加藤 この二つは中期計画の中でも特徴がある。筑波大では学類や専門学群大学院の学位プログラムとともに人材養成目的を明確にし、それに従ったカリキュラムポリシーやアドミッションポリシーを定めている。これらに基づいた教育

する」のが全ての大学に共通の賛保証の話だ。だが、これらのカリキュラムに従ったレールの上を走るよう学びだけをして、学生が社会に出た時に活躍できるのが今後の課題だ。チュートリアル教育などにより、学生一人一人が主体的に何を学びたいのかを考えられて、本学独自の教育を筑波大に根付かせたい。

——教育改革を進める上で、今後の課題は?

竹中 減少する大学入学者数への対応だ。学生一人の能力を高めることと、減少しした分、海外か

入試の導入が求めら  
学生の能力を高めるた  
は、博士前後期課程に  
学生を増やすこともさ  
なるだろう。

| 今後の高等教育の目標すべき姿  | 我が国の「知の総和」向上のための実現像～(答申)要旨を基に作成 |
|---|---------------------------------|
| 直面する課題  |                                 |
| 社会の変化…世界：環境問題やAI進展など  |                                 |
| 国内：急速な少子化など   |                                 |
| 高等教育を取り巻く変化…学修者本位の教育への転換など  |                                 |
| 未来像・人材像   |                                 |
| 目標すべき像  |                                 |
| 一人一人の多様な幸せと社会全体の豊かさ(well-being)の実現を核とした、持続可能な活力ある社会                       |                                 |
| 育成する人材像   |                                 |
| 持続可能な活力ある社会の担い手や創り手として、真に人が果たすべきことを果たせる力を備え、人々と協働しながら、課題を発見し解決に導く、学び続ける人材 |                                 |
| 高等教育が目標すべき姿   |                                 |
| 我が国の「知の総和」の向上   |                                 |
| 目標すべき像の実現のためには  |                                 |
| 「知の総和」(教×能力)を向上することが必須  |                                 |

&lt;div[](https://i.imgur.com/3XKJLJL.jpg)

申 されば、それは、手には、りに伴つて、か増さる。その先駆として、昨年5月に始まつたのが「学問探究チャートリアル」授業だ。分野が近い学類に所属する学生2人に対し、専門分野が異なる2人のチューター教員が配置されて、取り組みに取り組む。生自らの興味対象の発見や探究方法などについて助言する。学生の興味の広がりに応じてさまざまな専門領域の教員と話を聞くようになる。今年の受講生の1人、小室愛暖さん（日大1年）は、「大学での学びについて考えた」と思った」と受講の動機を語る。授業では、日本語の方言の役割について探究しておられ、「チューター教員と相談しながら、課題を深掘りしている。自分が

A photograph showing several students from behind, looking at a whiteboard or poster board that is partially visible. The students are engaged in a collaborative activity, likely a research presentation or discussion. The whiteboard contains some text and diagrams, though they are not clearly legible.

&lt;div[](https://i.imgur.com/3HhXGfL.jpg)

&lt;div[](https://i.imgur.com/3XKuJLW.jpg)

教育社会学が専門で、筑波大学マネジメント室所属の稻永由紀講師は今回の招待について、「社会の垣根を越えて、新しい手や創り手」という言葉が重要だ」という。これまで大学は、主に高校を卒業したばかりの若者に対し、社会に出て活動するためのトレーニングをする場だった。だが、現代が変化が激しく、予測が困難なVUCA社会化する中では、学んだことにしがみついてではなく、専門性を絶えず更新し、新しい学

A photograph showing several students in a hallway, looking at posters on display. One student in the foreground is holding a small white card. The scene is well-lit, and the students appear to be engaged in the activity.

&lt;div[](https://i.imgur.com/3XKuXfD.jpg)

# 学問探究升ヨートリアアル

探究したいことが何なのかを考え続け、問い合わせの解決方法を模索する姿勢が身に付いた」という。

採択されれば科目「研究者体験」の履修生として登録され、研究を遂行することができる。また研究に必要な音響システムを研究する

## 学類をまたいだ研究も

その他分野の学生で、教員と交流することで、コミュニケーション能力も育まることで、SION力や表現力も育まることで、  
AREの運営教員で細胞生物学を経て、現在は科学教育と博物館教育が専門の棚橋沙由理准教授（教育推進部）は、「今後も学生の「やってみたい」を支えていきたい」と話す。  
「こんなことを示していいよ  
が重要だ。

SNS(ネット交流サービス)や動画共有サービスなどのソーシャルメディアの普及は人々の交流方法を一変させた。その中でも、テキスト情報を通じて共有される感情が、ユーザーの行動に影響を及ぼす事例が注目されている。例えば、テスラ社の最高経営責任者、イーロン・マスク氏



王巧さん

吉田光男准教授

## Hello! 先端研究



(KLC)は知識情報・図書館学類の学生を対象に学習支援を行っている有志のグループだ。図書館情報学類は、図書館のデスクで、履修登録や図書館の利用法、授業の課題の解き方や論文のテーマ決めなどの相談についている。対応時間は授業日の午後4時半～8時で、予約なしで利用できる。

現在は計11人の学群生・大学院生がチーフターを務めており、代表の保坂美咲さん(知識4年)は「知識情報・図書館学類はプログ

ラミングの授業が必修だが、文系の学生は課題に苦悶が、文系の学生は課題に苦悶がある。対応時間は授業日の午後4時半～8時で、予約なしで利用できる。

現在は計11人の学群生・大学院生がチーフターを務めており、代表の保坂美咲

さん(知識4年)は「知識情報・図書館学類はプログ

ラミングの授業が必修だが、文系の学生は課題に苦悶がある。対応時間は授業日の午後4時半～8時で、予約なしで利用できる。

現在は計11人の学群生・大学院生がチーフターを務めており、代表の保坂美咲

さん(知識4年)は「知識情報・図書館学類はプログ

ラミングの授業が必修だが、文系の学生は課題に苦悶がある。対応時間は授業日の午後4時半～8時で、予約なしで利用できる。

現在は計11人の学群生・大学院生がチーフターを務めており、代表の保坂美咲

## 有志学生が学びをサポート

近な存在として気軽に相談してほしい」と話す。

KLCは2008年に始

まり、10年に図書館にデス

クを設けた。その当時は年

度が大幅に制限され、オンライン対応のみとなつた。

現在は対面に戻ったが、利

用者数は毎年50人程度だ。

「プログラミング講習会

などを開催し、SNS(ネット)

交流サービス)を活用し

て参加者を募つている。こ

うした取り組みで、認知度

を向上させていきたい」と

保坂さんは語る。

学生同士の交流を促進す

るため、今年度からは図書

館と連携して「読経本」の

イベントを始めた。

黒いカバーを付けた本の

表紙には、簡単な紹介文が

書かれている。利用者は表

し

して読み継い

でいくことで、

感動や共感など

の輪が広がって

いくという。

現在はチュー

ターカーたちが小説

を中心で選んだ

さんは「知識の

## 東京・デフリンピック

ハンマー投げ  
(体専4年)表彰式でメダルを掲げる遠山(中央)と森本(左)  
= YUTAKA/アフロスポーツ

聴覚障害がある人の国際大会「夏季デフリンピック東京大会」が11月15~26日開催され、遠山利生(体専4年)が陸上男子ハンマー投げで金メダル、森本真敏(日神不動産・平成30年度体育専門学生群卒)が同男子ハンマー投げで銀メダルを獲得した。

大会では1投目からシード

男子ハンマー投げで優勝した遠山は感音性難聴。ろう学校に通っていた高校時代に森本の誘いを受けて競技を始めた。

大会では1投目からシード

聴覚障害がある人の国際大会「夏季デフリンピック東京大会」が11月15~26日開催され、遠山利生(体専4年)が陸上男子ハンマー投げで金メダル、森本真敏(日神不動産・平成30年度体育専門学生群卒)が同男子ハンマー投げで銀メダルを獲得した。

デフリンピックは1924年にフランスで始まった。今回が25回目で、東京では初開催だった。聴覚障害者スポーツの認知度向上を目的に、観戦は無料でチケットも原則不要だった。大会では、音の代わりに旗やランプを利用して選手への指示やスタート合図を行う。

男子ハンマー投げで優勝した遠山は感音性難聴。ろう学校に通っていた高校時代に森本の誘いを受けて競技を始めた。

大会では1投目からシード



日本人10位の記録を出した川崎(10月18日、国営昭和記念公園で)=川畠悠成撮影

予選会は各校10~12人がハーフマラソン(21.0975km)を走る。上位10人の合計タイムで10位までが本戦に出場できる。今回は42校が出場した。

筑波大の合計タイムは10時間44分3秒で10位の立教大とは7分7秒差だった。トップの中院大は10時間32分23秒だった。川崎の記録は1時間2分20秒。13・7キロ付近で1時

筑波大は上位10人の通過順位で5位地元では9位、10位地元では10位と本戦出場圏内に入っていた。しかし、集団走で体力を温存しながら約2ヶ月間を基礎体力強化に費やし、自信を持った。本戦出場には届かなかつた。

木路修平駅伝監督は「予選会突破に向けて、6月末から約2ヶ月間を基礎体力強化に費やし、自信を持った。本戦出場には届かなかつた。

手元は予選会に臨んだ。選手たちは目標タイム(10時44分)通りに走つてこれ

【国営昭和記念公園(東京都立川市)で望月柚那(比較文化系1年)、吉田花(日本語・日本文化系1年)、川上真生(社会学系4年)、川畠悠成(知識情報・図書館学系2年)第102回東京箱根駅伝(箱根駅伝)の予選会が10月18日に開催された。筑波大は16位で第96回大会以来6年ぶりの本戦出場はならなかった。個人記録で筑波大トップ、全体19位となつた川崎(体専3年)が、予選会落選校から選ばれる関東学生連合チーム入りした。

6年ぶりの箱根ならず  
学生連合に川崎選出

日本人トップに立つ好走だつた。チーム2位は小林晴琉(同1年)の1時間3分20秒(全休64位)だった。

今年の予選会は、暑さ対策のため例年より約1時間早い午前8時半にスタートした。午前8時時点の気温は16度で、スタート時点で23度を超えていた昨年よりも涼しい中でのレースとなつた。

筑波大は上位10人の通過順位で5位地元では9位、10位地元では10位と本戦出場圏内に入っていた。しかし、集団走で体力を温存しながら約2ヶ月間を基礎体力強化に費やし、自信を持った。本戦出場には届かなかつた。

筑波大は上位10人の通過順位で5位地元では9位、10位地元では10位と本戦出場圏内に入っていた。しかし、集団走で体力を温存しながら約2ヶ月間を基礎体力強化に費やし、自信を持った。本戦出場には届かなかつた。

筑波大はその後、攻撃に大ペースは続く。同8分には、コーナーキックからヘディングのこぼれ球をまたがり押し込まれ、追加点を許してしまう。

筑波大はその後、攻撃に大ペースは続く。同8分には、コーナーキックからヘディングのこぼれ球をまたがり押し込まれ、追加点を許してしまう。

筑波大はその後、攻撃に大ペースは続く。同8分には、コーナーキックからヘディングのこぼれ球をまたがり押し込まれ、追加点を許してしまう。

筑波大はその後、攻撃に大ペースは続く。同8分には、コーナーキックからヘディングのこぼれ球をまたがり押し込まれ、追加点を許してしまう。

筑波大はその後、攻撃に大ペースは続く。同8分には、コーナーキックからヘディングのこぼれ球をまたがり押し込まれ、追加点を許してしまう。

横内が女子単優勝  
野口・安保が男子複準優勝

賞状とトロフィーを手に笑顔を見せる横内

横内は第16シードで出場。過去に敗れたことがあり、第1ゲームは、シャトル

横内は「相手はダブルス

個人戦で競う全日本学生選手権(インカレ)が10月10~16日、ヤマト市民体育館前橋(前橋市)で開かれた。女子シングルスで横内美音(体専1年)が初優勝、男子ダブルスで野口翔平(同4年)・安保武輝(同3年)ペアが準優勝した。

横内は「16シードで出場。過去に敗れたことがあり、第1ゲームは、シャトル

横内は「相手はダブルス

横内は「相手はダブルス

横内は「相手はダブルス

横内は「相手はダブルス

横内は「相手はダブルス

サッカー場(つくば市天王台)で山本貴世(国際総合学類3年)筑波大は11月8日、関東大学1部リーグの21節で流通経済大と対戦し0~2で敗れたが、勝ち点4点差で2位だった国士館大も同日

リーグ戦MVPにはDF池谷銀蔵(体専3年)が輝いた。また、ベストイレブンにはGK佐藤瑠星(同4年)、MF矢田龍之介(同1年)が選ばれた。矢田は新人賞も受賞した。

筑波大学第一サッカー場(つくば市天王台)で山本貴世(国際総合学類3年)筑波大は11月8日、関東大学1部リーグの21節で流通経済大と対戦し0~2で敗れたが、勝ち点4点差で2位だった国士館大も同日

リーグ戦MVPにはDF池谷銀蔵(体専3年)が輝いた。また、ベストイレブンにはGK佐藤瑠星(同4年)、MF矢田龍之介(同1年)が選ばれた。矢田は新人賞も受賞した。

筑波大学第一サッカー場(つくば市天王台)で山本貴世(国際総合学類3年)筑波大は11月8日、関東





## 採用担当者からの説明に耳を傾ける参加者（9月29日、つくば国際会議場で）

# 研究機関合同説明会

「接の会」研究会 たばこ窓 開拓工情室の学び

説明会では、各研究機関の採用担当者が、業務内容や求める人材などの採用情報、福利厚生などについて直接説明を聞ける研究機関もあった。参加者からは「複数の研究機関の説明をまとめて聞いてることができてよかったです」という声が聞かれた。BHEは研究機関も参加する企業説明会を開催して「スを考へることができる」とだが、博士課程の学生の「」などの声が聞かれた。BHEは研究機関に限った合同説明会やリア支援充実のためを初めて企画した。

実施され、開催された内閣開会式に出席する。また、30日間研修を受けた後、30日間実習を行なう。実習は、実習先の工場長、課長、部長等の指導の下で、実習生は、実習の内容に応じて、機械の構造と機能、人材育成と教育、属大学と教職員、学生との接觸等について、実習を行なう。

の見学会には、博士院成コソノーサム所の博士後期課程学生の計39人が参加しました。柳沢正史機関は取り組む睡眠研究に講演を聞いた後、施設を巡って研究設備や内観について説明を受けた。柳沢はその後、筑波大学「IMAGINE FUTURE.」などを紹介した。常南交通・つくば市役所「ITFE号」に乗ってKに移動し、加速器の実験施設を見学しました。

スリランカ留学生の吉田  
アーリヤシンハ・  
プルゼン・  
サットヤジット  
人文学者類  
スリランカ西部のガンバハ県出身。今春、人文学類に入学し、日本語を学んでいる。日本語は母語のシンハラ語と語彙が同じで、「幼い頃から『正しい』と親しみを感じた」という。  
地元のお寺に無料で三語を教えてくれるプログラムがあり、父に連れられて7歳の頃から日本語を学び始めた。中学までにシンハラ語と並んでスリランカの公用語のタミル

中国語を学んだ  
多くの言語に触わ  
るうちに、その音の面白さに気が  
つく。わざかな発音の意味が区別される  
で、その音の面白さに気がつく。

の翻訳機関などを傍観して会話を交わせる時代が、自分の言葉で現地人とコミュニケーションをとりたい」と、語学習に励んでいる。

その傍ら、日本語で小説の執筆にもいそしむ。中でも得意とするのはミステリー小説で、風景描写に力を入れている。今年は筑波山登つて関東平野を一望できる壮大な展望に息をのみ、そこからインスピレーションを得たとう。

「将来は日本で大学員となり日本語学を教たい。そのためには日本をさらに磨きたい」と、気込む。(大竹翔)  
学類2年、写真は本人  
供)

# ドラ3位岡城に聞く 「恩返ししていきたい」



入団する阪神タイガースのメガホンと、自身のサインボールを持つ岡城（11月14日、GSI棟で）＝川上真生撮影

【一面参照】プロ野球の新人選手選択（ドラフト）会議で阪神タイガースから3位指名を受けた岡城快生（体専4年）。岡山県の普通科高校出身で、筑波大には一般入試で進学した。高校時代の最高成績は県大会2回戦。野球の非エリートは、どうやってプロへの切符をつかんだのか。本人への単独インタビューを通じ、その歩みに迫った。

野球を始めたのは小学校1年生の時。父親が野球好きで、3歳上の兄も先に野球を始めていた。当初は捕手をしていたが、肘を痛めたことをきっかけに、内野

を意識するようになった。これは今も変わらない。高校卒業後は地元岡山を含む中国・近畿地方の公立大を目指していた。が、野球部の監督に相談する

夏には、内野手からチ  
ムで不足していた外野手  
転向。「内野より考える  
ことが減り、伸び伸びアプレ  
できるようになった。バ  
ティングの練習にも力を

が、こうした努力が3年生になるとチー  
カ力選手に育っていた  
そして、意識し始  
がプロの世界たった  
「アピールするた

が寒り、  
ムの主  
た。会場も大々的に作っ  
もらつたので、呼ばれ  
かつたらどうしようか  
思つていた」と振り返  
LINEやインスタグラ  
の連絡も400件以上来  
た。それでも、  
めにも、  
めたの。

# 廣告欄

## 堤載のお問い合わせ

shinbun@un.tsukuba.ac.jp

までお願いします。



## 自転車盗難被害半減

### 筑波大生 4~9月

今年度上半期の筑波大生の自転車盗難被害件数は17件で、昨年度同期の33件に比べ半減したことが、学生生活課への取材で分かった。盗難被害は学生から大いに届け出があったもので、筑波キャンパス外での盗難も含む。コロナ禍の2020年度は25件だったが、その後は増加傾向にあり、昨年度1年間では72件に達していた。同課は毎年春と秋に実施する交通安全キャンペーンなどを通じていた。同課は毎年春と秋に実施する交通安全キャンペーンなどを通じていた。

同課は07年ごろから同キャンペーンを始め、12年ごろからは茨城県警の協力でチャーンロックの無償配布も始めた。同課によれば、施錠している自転車が盗まれることも多い。だが、チャーンロックを使い、本来の鍵と合わせて二重施錠すると、盗まれにくくなるという。今年

2020年度は25件だったが、その後は増加傾向にあり、昨年度1年間では72件に達していた。同課は毎年春と秋に実施する交通安全キャンペーンなどを通じていた。同課は毎年春と秋に実施する交通安全キャンペー



CFPの認知度などを調べるパネルを手にする学生ら(11月19日、1A棟食堂で)=壬生奏太撮影

学生食堂で提供されるメニューにカーボンフットプリント(CFP)を表示「見える化」するプロジェクトの第3弾が11月17日始まった。今回の対象は1A棟食堂と第三エアリ

食堂。利用者が環境に配慮したライフスタイルを考え行動に移すきっかけになればと「DESIGN THE FUTURE」(DTF)機構が主催した。12月19日まで。

CFPは原材料の調達から廃棄、リサイクルまでのライフサイクル全体を通じて排出される温室効果ガスの排出量を二酸化炭素(CO2)に換算して表示する取り組み。DTF機構のプロジェクトでは、食材の調達から調理までの過程で排

出される量を表示した。CFPの値が学食のメニューに表示されるのは昨年11月18日~12月20日に1A棟食堂と医学食堂で実施して以来。今年は食券の販売機のメニューを選ぶボタンにCFP値を表示し、利用者が食券を貰う際に直接参照できるようにした。

また、混雑時に列ができるようCFPアートには昨年11月18日~12月20日に1A棟食堂と医学食堂で実施して以来。今年は食券の販売機のメニューを選ぶボタ

ンにCFP値を表示し、利用者が食券を貰う際に直接参照できるようにした。

これらのイベントは、プロジェクトに参加した有志学生11人が中心になつて企画。CFP値も、食堂を運営するシダックスコントラクトードサービス(本社:東京都江東区)からの情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

## TWINS刷新

### 成績郵送は廃止

度上半期の筑波大生の自転車盗難被害のうち7件は無施錠だったが、10件は施錠していた。

2020年度以降の筑波大生の自転車盗難被害件数は以下の通り。20年度25件(施錠有7件、無施錠18件)▽21年度31件(施錠有14件、無施錠17件)▽22年度40件(施錠有14件、無施錠26件)▽23年度61件(施錠有23件、無施錠38件)▽24年度72件(施錠有27件、無施錠43件、不明2件) (壬生奏太)

生物を人工的に合成せたりする研究分野が「合成生物学」だ。学生がその成果を競う世界大

会「iGEM」への出場をめざし、3年前から活動を始めた。

今年10月にパリで開かれた大会では、「タンパク質言語モデル」を用いた

「タンパク質改良」をテーマに発表を行い、最高ランクのゴールドメダルを獲得し、Safety and Security部門の特別賞にノミネートされた。

授業などに取り組む「Education班」の四つに分かれ、活動している。実験は顧問である鈴木石根教授(生環系)の研究室を借りて

いる。「タンパク質言語モデル」とは、たんぱく質を構成するアミノ酸配列を「言語」のように学習させた生成人工知能(AI)を使い、たんぱ

## 世界中の同窓生つなぐ

## TUAN総会開催

オンラインで世界を結んで開かれたTUAN総会=国際局グローバル・コモンズ(平成25年度国際総合学類卒)提供

経営責任者(CFO)を務める武藤康平さん(平成25年度国際総合学類卒)と母国クロアチアで人材コンサルタント会社を運営するシダックスコントラクトードサービス(本社:東京都江東区)から情報

を基に学生が初めて算出した。プロジェクトに参加した東京都品川区から情報

# Who's Who?

BHE所属の研究員としても活躍中

## 岸良隼人さん (障害P後期2年)



外出時はサングラスと白杖で歩く岸良さん (10月24日、中央図書館前)

目の難病「網膜色素変性症」の当事者でありながら、大学院で障害科学を専攻し、ヒューマンエンパワーメント推進局(BHE)の研究員として障害学生支援にも従事している。「研究成果や支援の経験を生かし、大学できまさば困難に直面する人を減らしたい」と語る。

網膜色素変性症は、光を受け取る網膜の視細胞が徐々に機能を失っていく病気で、夜盲、視

野狭窄、視力低下の三つが主な症状だ。治療法は見つかってない。

小学生の頃から夜に物が見えないと感じていたが、周囲から

はビタミン不足だと言われ、

病気だとは思っていなかった。

診断がついたのは、大学入学後だ。元々教員志望で、「困難

を抱えている人の助けになりたい」と障害科学類に進み、1年

次に「障害学生支援技術」の授

## 入学後に目の難病が発覚

### 誰もが参加しやすい授業方法開発したい

ペクトラム症(ASD)のある学生を含む全ての学生が、少グループ学習に参加しやすくなる授業を履修した。その後、視覚障害のある学生を支援するピア・チューター(学習補助者)として活動する中で、網膜色素変性症の当事者である先輩と出会った。自身の夜盲症を伝えると病院への受診を勧められた。

その後、更に症状が進み、視野中心のごく狭い範囲しか見えなくなってしまった。障害物や人にぶつかることが多く、案内看板を見逃して道に迷つこともある。白杖を持つようになってからは知らない人に助けてもらうことが増えたといふ。

BHEの職員となったのは2022年秋。学類時代に自身も受講した「障害学生支援技術」の授業で、視覚障害や運動障害に対応するコースを受け持つ。自分にとっても、さまたげな機会になっている」と話す。現在の研究テーマは、自閉症

## 柔道グランドスラム東京



3位決定戦で袈裟固を決める白金(右) (12月6日、東京体育館) =川畠悠成撮影

2面へ

## 双峰祭 後夜祭花火



双峰祭の最後に打ち上がった花火 (11月3日、石の広場) =川畠悠成撮影

3面へ

## 欧洲伝統の羊皮紙紹介



来場者に羊皮紙を解説する藤川さん (11月2日、5C棟) =吉田花撮影

5面へ

## 学食のCO<sub>2</sub>排出量表示



食堂の床にメニューのCO<sub>2</sub>排出量を示すステッカーを張る学生 (11月19日、1A棟食堂) =壬生奏太撮影

11面へ

次号は

2月18日 (水)

発行予定です

(記者・大成夏生II第1類)

■ 編集・発行  
筑波大学新聞編集委員会  
▽委員長・内海貴生(生  
学)▽副委員長・中澤秋夫  
(学生部長)▽委員・秋山  
環系・教授▽水環境生態工  
程系・教授▽水環境生態工  
程系・助教▽憲法・  
平和研究・嵯峨寿(体育  
系・准教授)▽レジヤー・ス  
ポーツ産業論・永森光晴  
(国際メソ・講師)▽セマン  
ティックウェブ・メタデ  
タ)

■ 編集・発行  
筑波大学新聞編集部  
▽編集代表・鶴志田公男  
(筑波大学・教授)▽サイエ  
ンスコミュニケーション  
▽編集長・山本貴世(国際  
総合学類3年)▽副編集  
長・松尾有姫(比較文化  
学類2年)、川畠悠成(知識  
情報・図書館学類2年)  
ほか編集部員20人

発行所・筑波大学  
印刷・リフコム

学内総合

三一特集

学芸

学生生活